

科目ナンバリング		U-LAS41 10001 PJ49							
授業科目名 <英訳>		スポーツ実習ⅠA [バスケットボール] Sports I A [Basketball]			担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 河端 隆志		
群	健康・スポーツ科目群		分野(分類)		スポーツ実習		使用言語	日本語	
旧群	D群	単位数	1単位	週コマ数	1コマ	授業形態	実習（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	金2		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
Sportとは「暴力追放」のムーブメントとして起こりました。そして、Sportmanとは「良き仲間」であり、Sportmanshipとはもうお解りだと思います。 「スポーツは遊戯としてのプレイに始まり競技としてのプレイに終わる」と云われますが、そもそもPlayとは、自身が演技・表現して愉しむものです。 バスケットボールというチームスポーツを題材として以下の項目について学び愉しみましょう 1. ヒトのからだのしくみを機能解剖学的視点および環境・運動適応学的視点から捉え、スポーツ動作における主観と客観のズレから起こる無駄な動作について自身のからだを題材として考える。 2. 団体競技（バスケットボール）から何を学べるのか？自身の行動、発言が如何に他人に影響を及ぼすか、リーダーシップと協調性といった、いわば生活における教養を身に付ける。 以上のテーマから健康で健幸な生活を営む為の基礎としたい。 「相手の心が解るころ」これがゴールである。									
[到達目標]									
Sport本来の意義について理解し、その愉しみ方を体得する。 スポーツ本来が持っている効能から、この講義ではチームスポーツであるバスケットボールを取り上げて、チームという組織における自身の御し方を考える。特に、毎回チームにおけるキャプテンを交代で行うので、コーディネータとして小集団をまとめる能力と協調性を体得する。									
[授業計画と内容]									
1－3回	歩く・走る・投げるといったヒトの基本動作について、からだの構造的なしくみから解説し、自身のスポーツ・運動動作に実感できるようにする。								
4－6回	チームを構成して、実習期間を通してのチームづくりを行う。 キャプテンシーを発揮できるよう、毎回キャプテンを交代して、チームを運営していく。また、協調性についても体得する。								
7－9回	環境・運動適応能における運動時の体液バランスと飲水行動について学ぶ。								
10－14回	スポーツを積極的に如何に愉しめるか。チームづくりを基礎としたチームとしての愉しみ方について体得する。								
15回	フィードバック								
スポーツ実習ⅠA [バスケットボール] (2)へ続く↓↓↓									

スポーツ実習ⅠA [バスケットボール] (2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

ヒトのスポーツ動作を機能解剖学的視点と運動環境生理学の視点から捉え、「からだのしくみ」を自らのからだを基に理解した達成度とチームという組織における言動と行動をもととする平常点で評価する。

[教科書]

使用しない

[授業外学修（予習・復習）等]

身体動作について、生活のあらゆるなかで考える。特に、基本の身体動作である歩行動作について、講義で体得したことを習慣として身につける。

[その他（オフィスアワー等）]

スポーツ実習の履修には保険への加入が必要です。原則として「学生教育研究災害傷害保険」（学研災）および「学研災付帯賠償責任保険」（付帯賠償）に、留学生は学研災および「学生賠償責任保険」（学賠）に加入して、授業に参加してください。

[主要授業科目（学部・学科名）]